

ひがしくにのみや

東久邇宮文化褒賞受賞

氷取在住の永江和昇さんが芸術文化活動を通じて地域社会に貢献された功績により東久邇宮文化褒賞を受賞されました。

永江さんは、約48年間の長年に渡りピアノ調律師として活躍されています。また昭和56年からはピアノやエレクトーンなど各種楽器の音楽教室も行っており、地域の音楽教育にもご尽力されています。

永江さんは「このような賞をいただくことができて、非常にうれしく思います。今まで支えてくださった皆さまのおかげです」と述べられました。



▲受賞報告に来庁された永江さん

12/22

町長さんと語る会

登龍中学校3年生が、これからの安八町について町長に提案する「町長さんと語る会」が行われました。

事前に各学級で話し合った町の現状や課題、自分たちにできることなどをまとめて意見を発表しました。生徒たちからは、「街灯が少なく、夜道が危険」「大学や高校を設置してはどうか」「新しい特産品をつくってはどうか」など多くの提案がされました。

代表生徒は「直接町長さんに自分たちの思いを伝えることができてうれしかったです」と話してくれました。



▲これからの安八町についての提案

1/9

消防出初式

役場南駐車場で消防出初式が行われ、消防団員・女性防火クラブ員約150人が参加しました。

今年は室内での式典を中止し、屋外で分列行進や一斉放水、伝達表彰などが行われました。

また、結小学校少年消防クラブは、防火防災広報や啓発を積極的に行い、知識・技術の習得に努めた活動が認められ、岐阜県少年消防クラブ運営指導協議会長表彰表彰旗を受表彰されました。



▲色鮮やかな一斉放水

書き初め

冬休みの練習の成果を発揮する毎年恒例の書き初め大会が各小・中学校で行われました。

児童・生徒たちが、お手本を見ながら真剣な表情で筆をふるいました。清書が終わると「練習より上手に書けました」「今年も頑張るぞという気持ちになれるので、来年も書きたいです」と感想を話してくれました。

児童・生徒たちの作品は、校内で入選作品が選ばれたのちに、町の審査会で推奨等が決められます。



▲真剣に書き初めに臨む児童たち（結小学校）